## ( 株式会社 大 島 製 作 所

### オスピナレーター フロンティア 資料

### 「EBM」の考 え方 について

**EBM** (evidence-based medicine) とは、あやふやな経験や直感に頼らず、科学的 evidence (証拠) に基づく最適な医療・治療を選択・実践するための方法論で、「臨床結果に基づく医療」とも呼ばれています。

発祥の地はアメリカで、勤務医の臨床結果論文が医学誌に発表され、その膨大な医療データは治療現場に活用されています。日本でも日本医療機能評価機構が、「EBMに沿った診療ガイドライン(Minds)」を Web サイトで公開しています。

EBMの実践においてもっとも重要なことは何か。それをどう患者様に適用していくかであり、個々の患者様の特性を見極め、患者様の価値観も適切に把握しながら実践することです。今後ますますこうした考え方が浸透し、有効な臨床結果を集積した論文集が出版されていくと思います。

おかげさまで、当社ローラーベッド(ベッド型マッサージ機)には 40 年の歴史があります。日進月歩の医療の中にあって、長年に亘り皆様に可愛がっていただけることに、日々感謝の気持ちを忘れず、しっかり精進して参ります!

次回から「**オスピナレーター フロンティア**」についてご紹介させていただきます! ローラーベッドとEBMについて、一緒に考えていければと思います。

### オスピナレーター フロンティアについて(1)

「オスピナレーター フロンティア」は、当社ローラーベッドの主力商品です。

当機器魅力度の第一は、なんといっても「**三叉大ローラー**」にあります。上半身への「**三叉大ローラー**」による刺激こそ、他にはない当社独自の刺激パターンと考えています。

また、大阪医科大学麻酔科学教室発行の「東洋医学とペインクリニック」には、表題「オスピナレーターの臨床的検討」、副題「とくにその快適度、良絡、握力および呼吸機能に及ぼす影響について」と題し臨床文献が掲載されました。その文献の結論部には、「オスピナレーターによる筋肉のローリングは、患者の気分を爽快にし、良導絡の興奮性を抑制し、握力の左右差を均等化し、呼吸肺活量を増加せしめる方向に作用することがわかった。」とありました。



「三叉大ローラー」には、形状・硬度・回転速度・接触範囲等、さまざまなノウハウが入っています。その中でも特筆すべきことは、「三叉大ローラー」による刺激感が、斬増斬減(つまり体感ゼロの状態から徐々に感じ始め、ピークを過ぎると徐々に弱くなり体感ゼロとなる)ということにあります。この動きを規則正しく繰り返

すことで、患者様に安心感をもっていただき、気持 ち良く乗っていただけるのだと思います。

実は長い年月の間、「三叉大ローラー」に変わる ものを開発しようと考え、形状を変えてみたり、硬 度を変えてみたり、回転速度を変えてみたり、構造 そのものを変えてみたりと、様々試作してみました がどれもよくないのです。

当然その間、さまざま改良を加え今日の「三**叉大**ローラー」があります。しかし人間の身体が大きく変わらないように、「拙速に構造を変えることは良くない」との考えに至りました。



このようにEBMの先駆けともいえる臨床データも加え、患者様に喜んでいただけるよう誕生したのが「オスピナレーター」であり、その考えを踏襲し進化した機器が「オスピナレーター フロンティア」なのです。

次回は「ミルキングアクション」についてご説明いたします!

### オスピナレーター フロンティアについて(2)

全身の血液は心臓から動脈を通る血液は重量抵抗を受けるため、心臓だけでは結構な負担になってしまいます。 そこで心臓の助けとして、足の筋肉が血液の周りで伸び縮みすることにより、血液が容易に心臓に戻ることができます。

「足は第二の心臓」と呼ばれます。足には運動に欠かせない太ももの筋肉(大腿四頭筋)とふくらはぎの筋肉(下腿三頭筋)があり、この筋肉が緊張したり緩んだりすることで、筋肉が静脈を圧迫し、血液をポンプのように送り出します。この動きが「乳搾りの動作」に似ていることから「ミルキングアクション」と呼ばれています。

「オスピナレーター フロンティア F-250」には三叉小ローラーが付いています。三叉小ローラーは、1本の軸に小ローラー4個付いたものが3本あり、下肢部範囲に刺激をあたえる構造となっています。回転速度は三叉大ローラーの2倍の速さですが、ローラー径と回転径が小さいため、小気味良い漸増漸減刺激が規則正しく繰り返される刺激であり、ミルキングアクションを促します。

「オスピナレーター フロンティア F-150」には、1本の軸に小ローラー4個が付いた**振せんローラー**による刺激があります。バイブレーションの連続・間歇ならびに擦法を行なうことにより、ミルキングアクションを促します。



### マッサージ治療のEBM\*1を実証 FRONTIER 遊星ローラーシステム (Epicycle Roller system) と三叉大ローラー 上半身をマッサージする三叉大ローラーによる遊星ローラーシステムは、当社独自の特許実績を もつローラーマッサージのシステム。 最適な刺激変化としてバターン化された三叉ローラーは、上半身を快適にマッサージして椎間関節 の柔軟性を増す働きがあります。 静脈血の還流を促進させる、三叉小ローラー\*2 アキレス腱から、ふくらはぎ、ハムストリングスへとマッサージする三叉小ローラー (脚部ローラ-は、第2の心臓といわれる、ふくらはぎの筋肉内で起こるミルキング・アクション (乳搾り動作)を促 し、静脈血の心臓への還流を促進させるという目的があります。 \*1:根拠に基づく医療(Evidence Based Medicineの略) \*2:三叉小ローラーはF-200に搭載の機能です。 ● 遊星ローラーシステムと治療刺激パターン 刺激バターンのイメージ 間歇刺激で強弱変化がある 連続刺激で強弱変化がある 休止 休止 休止 時期 時間 三叉小ローラー 三叉大ローラー

### オスピナレーター フロンティアについて(3)

「オスピナレーター フロンティア」は頚部マッサージ機構(モミローラーと治療プレートをマッチングする機構)を搭載しています。

- ①身体背部の多重層からなる筋肉を揉み ほぐす「モミローラー」は、単なる八の 字運動でなく、偏芯運動を加えた**三次元** 刺激が特長です。
- ②モミローラーを用いたもう一つの特長は「軽モミ」という考えにあります。胸背部や腰部にはやさしい当たりを、とのご意見にお応えしました。ご高齢の方にも安心して乗っていただける「いたわりプログラム」を提案出来ます。

押圧分散型のマッサージとしてご活用いただけます。

# 「全身をマッサージして欲しい、でも胸背部や腰部は優しく・・・・」の、ご高齢者の声で開発した「いたわりプログラム」。このプログラムを行うのが軽揉捏ローラー機能 「さすり(擦法)がリード、直後にモミ(揉捏)が追いかける」の刺激は、ひとつの部位に2通りのマッサージ手法を連続して行います。「高齢者に配慮したい」とのご要望に応えます。 ◆ スーパー・頸部マッサージ機構 頸部のS字形状にしっかりなじむ専用マット、あたかも手技のようにマッサージする揉捏ローラーは、 頸部に適度な圧迫を加えながら「もみ・こねる」の刺激感を与える頸部専用のマッサージ機構です。 ▼ッサージ部分 □ マッサージ部分 □ マッサージ部分

軽揉捏(軽いタッチのモミ)

### オスピナレーター フロンティアについて(4)

「オスピナレーター フロンティア」の操作性は、使い勝手に配慮しました。

- ①治療プログラムには15のステップがあり、「マッサージ機能の順番を自由に組み替え」ることが出来ます。
- ②全5種類のプログラムを作成出来ますので、「標準」「頚部中心」「腰部中心」「ソフト」「高齢者用」など、「ユーザープログラム」として使い分けることが出来ます。
- ③スタート前に時間キーを押すことで、「**治療時間の変更**」が可能です。



④操作パネルは患者様足元上部に位置し、「水平方向の左右への回転」が可能で、設置場所に応じ調整出来ます。

## するとりの治療を大切に ひとり一人で異なる患者さんへの治療。 だからこそ、治療に合わせた自由なプログラムを作ることができます。 自由順番プログラム ひとつのプログラム、15治療機能の順番を自由に入れ替えます。 (入れ替えには一部制限があります) ユーザープログラム 5つのプログラムを治療にあわせて書き替えます。 時間変更プログラム 5つのプログラム内の治療時間設定が変更できます。 (F-200のみの機能です)

以上で「オスピナレーター フロンティア」の説明を終わりますが、今までの内容を簡単にまとめますと、

- ①EBM(根拠に基づく医療)を実証する、三叉ローラーによるローラーマッサージを継承かつミルキングアクションを促す。
- ②軽モミを用いた「**いたわりプログラム**」を含む、**新たなモミ機能**を加える。
- ③バイブレーション機能(連続・間歇)を搭載。
- ④操作性のさまざまな向上。

まさにベッド型マッサージ機の高級機種といえるでしょう。

以上で、「オスピナレーター フロンティア」の説明を終わります。

